

学年	教科等	単元名	日時
第3学年	外国語活動	I like blue.	平成30年7月9日(月)5校時
本時における「深い学び」	「聞き手となる友達を想定して自己紹介を考える」「わくわくしながら試しに自己紹介を見せ合ったり、意見や感想を伝え合ったりする」「そのうえで、やり取りの場面で楽しそうに相手と向き合って伝える」学びです。		

「深い学び」のある授業を創造するために、下記の手立てを取りました。

○ 「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」の明確化

自己紹介の目的、場面や状況をもとに、相手に伝えるためにはどうすればよいかを考える。

- ・ 好みについて慣れ親しんできた語のなかから選ぶ。それ以外を選ぶ場合は、みんなに伝わる語か考える。
- ・ 伝わる表現にするためには、選んだ語を“I like”の後につなげればよいと考える。
- ・ 互いに気持ちのよいやり取りをするために、伝わる声や表情等をどうすればよいかを考える。

○ 「考えや思い」を伝えたり、受け取ったりする表現づくりの工夫

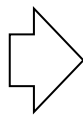
子ども自身が、慣れ親しんできた英語やそれ以外の英語のなかから語を選んだり、語や語句をつないだりしたうえで、伝え合える楽しさや喜びを実感する活動をめざす。この活動の積み重ねが、表現づくりの価値を感じさせ、工夫して相手に伝えようとしたり、相手の考えや思いを受け取ろうとしたりする態度を育てていくのではないかと考える。また、本時においては、互いの自己紹介について意見交換する場を設ける。これは、話し手を支える立場としての体験ともいえる。この体験の積み重ねが、目の前にいる相手が話す英語から、考えや思いを受け取ろうとする態度を育てていくのではないかと考える。

子どもの姿：

- 自己紹介を考える場面
 - ・ 「学級の仲間のことをもっと知ろう」という目的を考えたときに、自己紹介に嫌いなものを入れるかどうかについての話し合いに時間を要していた。
 - ・ ほぼ全員が、自分の力で自分なりの自己紹介をつくることができた。難しさを感じている姿はなかった。
 - ・ 「まだ、終わっていない。どうしよう。」という言葉もあった。
- 試しに自己紹介を見せ合い、意見や感想を交流する場面
 - ・ ほぼ全員が、わくわくしながら試しに自己紹介を見せ合っていた。
 - ・ 相手を変えながら3回繰り返すなかで、徐々に慣れ、自信をもつ姿が見られた。
 - ・ 互いの自己紹介についての意見や感想を伝え合う姿はほとんどなかった。
- 自己紹介をする場面
 - ・ ほぼ全員がやり取りの場面で楽しそうに相手と向き合って伝え合っていた。
 - ・ “I like～. Do you like～?” とせず、“Do you like～?” を使って相手の好みを聞いているだけの姿も見られ、曖昧さの残るやり取りになっていた。



試しに、ペアの相手と見せ合った。



新たな相手と、自己紹介のやり取りを行った。

実践をふりかえって：

外国語活動導入期の小学校3年生において、どの程度「見方・考え方」を働かせることができれば深い学びといえるのか、悩みながらの実践であった。参観された先生方からは、「そもそも3年生のこの時期に深い学びが必要なのか」「嫌いなものを伝えることも必要かを話し合う時間は、必要だったのか」という御意見をいただいた。また、「やり取りで使う英語の練習時間をもっと確保すべき」「もっとやり取りをする必然性のある活動にするべき」という基本的なことについての御意見もいただいた。今後は、原点に立ち返った授業をするなかで、子どもが、発達の段階に応じてどの程度「見方・考え方」を働かせているのかを見極めながら、深い学びについて探っていきたい。

御意見・御質問はこちら(研究部アドレス)

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

授業実践計画

○ 指導計画（4時間）

- (1) 色の言い方に慣れ親しみ、好みを表す表現を知る。_____1時間
- (2) スポーツ名の英語の音声やリズムに気付き、好みを表す表現に慣れ親しむ。_____1時間
- (3) 好きかどうかをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、自分の好みを伝え合う。_____1時間
- (4) 相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介する。_____1時間（本時）

○ 本時の目標

相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介しようとする。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 英語の歌を歌ったり、チャンツをしたりして、本時の学習について確認する。</p>	<p>○ 英語の歌を歌ったり、チャンツをしたりすることで、自己紹介で使う表現に慣れ親しんだり、英語を使う楽しさを味わったりできるようにする。</p>
<p>2 本時の学習について確認する。</p> <p>○ 単元のめあて</p> <p>自己紹介をして好みを伝え合い、スター学級の仲間のことをもっと知ろう。</p>	<p>○ やり取りの目的、場面や状況を子どもとの対話とおして明確にすることで、自己紹介をつくるうえでの見方・考え方が働く出発点となるようにする。</p> <p>目的：学級の仲間にもっと自分を知ってもらうため。 場面や状況：教室で学級の友達同士で。</p>
<p>3 自己紹介をつくり、ペアで試しに見せ合う。</p> <p>○ 相手に伝える工夫（見方・考え方）</p> <p>・ 色やスポーツ、飲食物の中から英語を選ぶ。慣れ親しんできたもの以外を選ぶ場合は、みんなに伝わる英語が考える。</p> <p>・ “I like” の後につなげればよいと考える。</p> <p>・ 伝わる声や表情等を意識する。</p>	<p>○ まずは一人でつくらせることで、伝える相手をじっくり意識しながら慣れ親しんできた語を選んだり、つないだりできるようにする。</p> <p>○ 隣や前後のペアで試しに自己紹介し合った際に、「もっとこうするといいよ。」「ここがよかったよ。」等の意見や感想の交流もさせることで、話し手を支えようとする思いを生み出したい。</p>
<p>4 いろいろな友達と自己紹介をし合う。</p> <p>○ 自己紹介の表現内容</p> <p>A: Hello B. How are you? B: Hello A. I'm fine. How are you? A: I'm fine. Can I go first? B: Yes. ※A: I like red. Do you like red? B: Yes, I do. A: I like swimming. Do you like swimming? B: Yes, I do. A: That's all. It's your turn. BとAのやり取り(※部分と同様の内容) B: Nice talking to you. A: Nice talking to you, too. B: See you. A: See you.</p>	<p>○ ※のやり取りの前後に挨拶を入れることで、相手に配慮し、気持ちよく会話を始めたり終わったりする体験を積み重ねられるようにする。</p> <p>○ 途中で活動を止め、自己紹介をし合う姿のよさを称賛したり、課題を伝えたりすることで、「もっと知ってもらうためにさらによい自己紹介をしよう」という意識をもてるようにする。</p> <p>○ 子どもとともにやり取りを行い、“You like soccer.” “Nice.” “Me too. (自分を指すジェスチャー)” 等と返していくことで、聞き手の反応によって嬉しくなる感じを味わわせたい。このことが、聞き手としての見方・考え方、互いの思いを共有する学びへとつながることを期待している。</p>
<p>5 本時学習をふりかえり、英語の歌を歌う。</p> <p>○ ふりかえりの内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 伝え合うときにがんばった (=工夫した) こと・ 自己紹介をし合ってみての感想 <p>○ 英語の歌</p> <ul style="list-style-type: none">・ Good bye Song	<p>○ 自己紹介をし合ってみての感想を書かせ、そこに表れている素直な思いを価値付けることで、自分の考えを伝え合うことの楽しさや喜びを感じられるようにする。</p>

○ めざす子どもの姿

I like の後に “red” “dodgeball” “ice cream” を入れれば、僕の好みは伝わるな。表情やはっきりと話すことも心掛けよう。好みを伝え合うことって楽しいな。

【態度】

